

フットケアにおける 意識改善を目的とした 聞き取り調査

医療法人社団 茨腎会 太田ネフロクリニック

○小野寺 真美 高橋 智仁 山中 祐治 二階堂 剛史 酒井 伸一郎

目的

当院では足病変に対し定期的にフットケアを実施しているが、自覚症状がないとの理由で自ら訴えてくる患者は少なく、全体像を把握するのは困難であった

そこで、足に対する指導と意識調査を兼ねたアンケートを実施し、足病変の早期発見と意識改善のきっかけとなったので報告する

対象及び方法

当院維持血液透析患者225名(男性149名、女性76名)

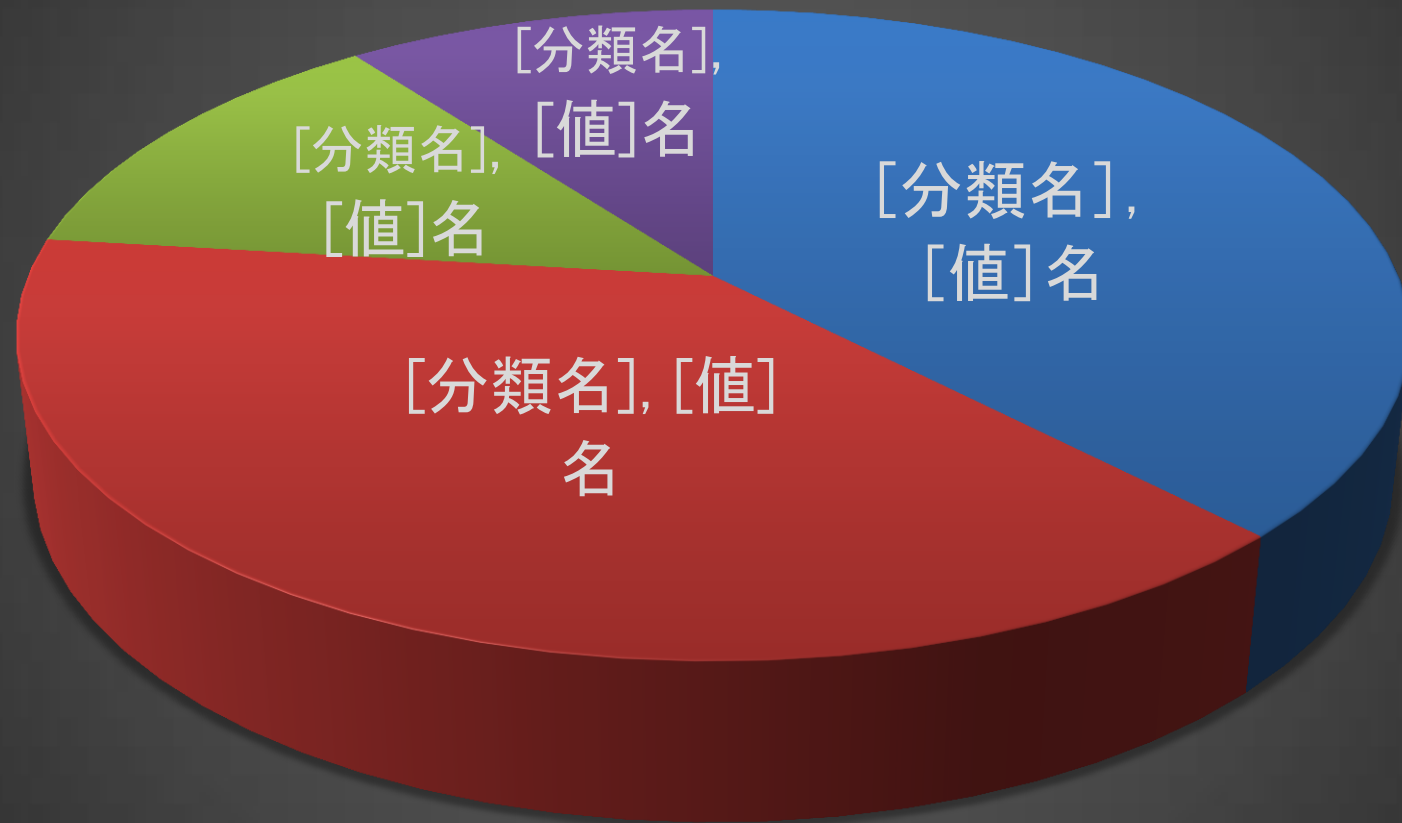
平均年齢67歳±12.3歳 平均透析歴6.4年±6.5年

期間：平成27年5月～6月

足に対する指導を兼ねたアンケートを活用し、意識調査

当院のフットケア状況と糖尿病の有無で比較

慢性維持透析患者225名の原疾患内訳



(アンケート前)当院でのフットケア状況(33名)

・爪白癬	爪研磨 外用薬 内服治療 炭酸泉足浴
・胼胝・鶏眼	研磨 炭酸泉足浴
・爪の変形	爪切り 巻き爪にてワイヤー装着(9名) 陥入爪にて皮膚科受診(1名)
・足趾変形	インソール作成(4名) 経過観察

足の手入れ【フットケア】

アンケート用紙①

なぜ必要なのでしょう？

皮膚の乾燥

皮膚の仕事は、ばい菌やウイルスなどの侵入を防ぐ役目があります。

透析患者さんは、汗を出す管が縮んで汗の量が減ってしまい、皮膚の油が皮膚に行き渡らないのが原因でカサカサになりひび割れやすくなります。

よって、毎日お風呂やシャワーできれいにし、カサカサにならないようにクリームや軟膏などを塗って保湿することが必要になります。

血流について

加齢・透析の長期化・糖尿病などにより、血管が老化し固くなります。

血管が固くなると、やわらかさ・しなやかさ・波のように広がる動きが乏しくなり、血液の流れが悪くなります。

血液は、酸素や栄養を全身に届ける役割があります。

血液の流れが悪くなると、心臓から一番遠い足から症状が出てきやすくなります。

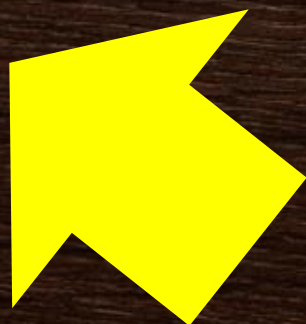
よって、血流改善の為に足浴や足の手入れが重要になってきます。

アンケート用紙②

スタッフへ声掛けした方は

胼胝・鶏眼 13名

爪白癬 1名



こんな症状ありませんか？

足に胼胝や鶏眼がありませんか？

胼胝【タコ】や鶏眼【ウオノメ】は主に体重のかかる足の裏、親指の付け根、かかとなどに出来る事が多く 皮膚の表面が厚く硬くなります。そして大きなものは痛みを伴います。

また糖尿病による神経障害や血流障害と合わさることで感覚が低下し胼胝が大きくなっても痛みが無く、胼胝下潰瘍へと進行したり、傷の原因となります。

爪が分厚くて白く濁っていませんか？

『爪が分厚い』『白く濁っている』 爪白癬の症状です。いわゆる爪水虫の事です。

爪白癬は真菌の貯蔵庫となり周囲への感染源となります。爪がもろく剥がれやすくなり足白癬【水虫】を合併します。

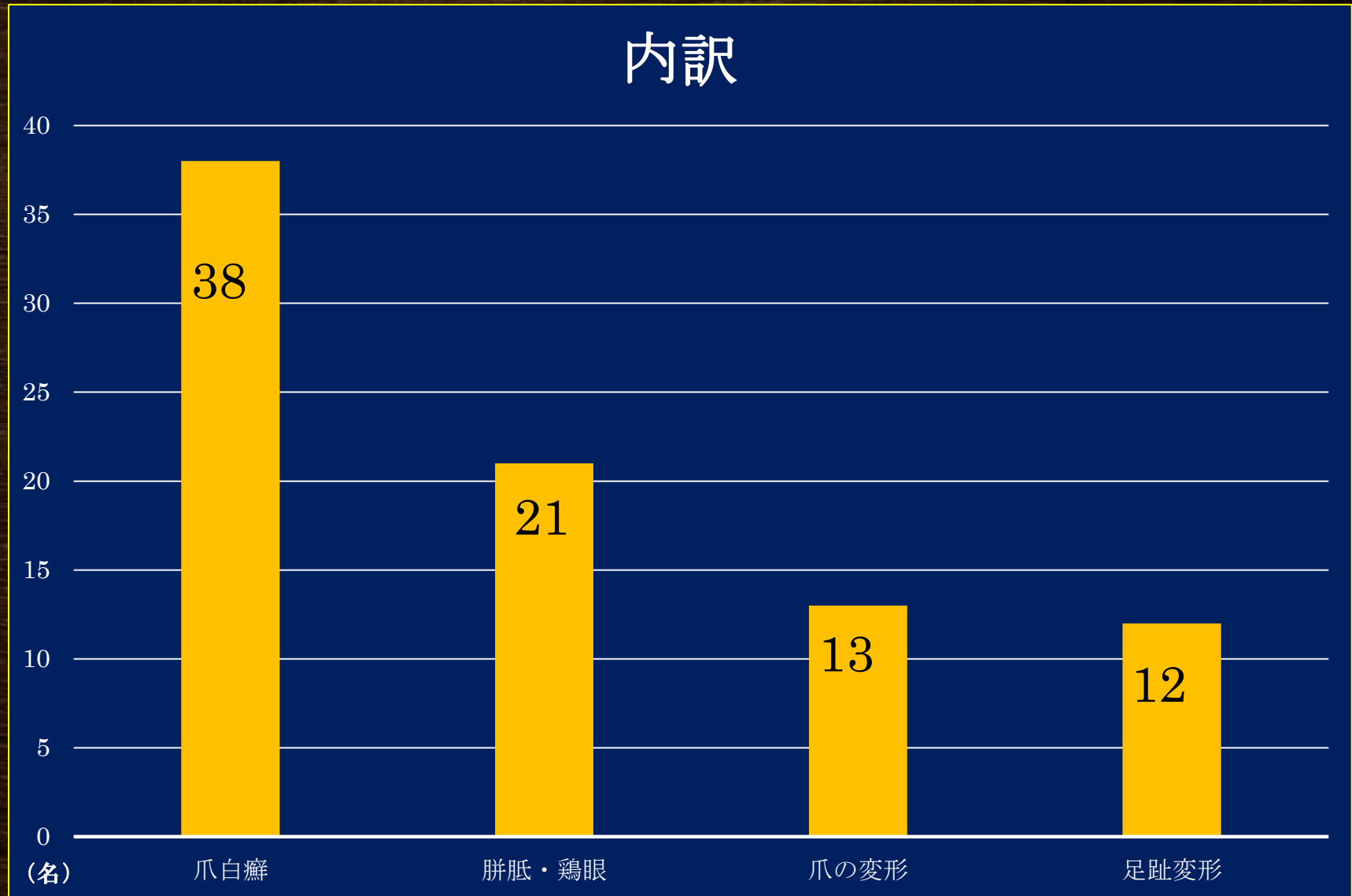
足の指が曲がっていませんか？

ハンマートゥといいます。見た目が悪いだけでなく歩行時のバランスを崩し、かかとへの負担を増やしたり足裏に炎症や痛みを伴う場合もあります。着地がうまく出来なくなる事で足のショック吸収機能が低下します。それが原因で膝痛、腰痛、背部痛などが生じることがあります。

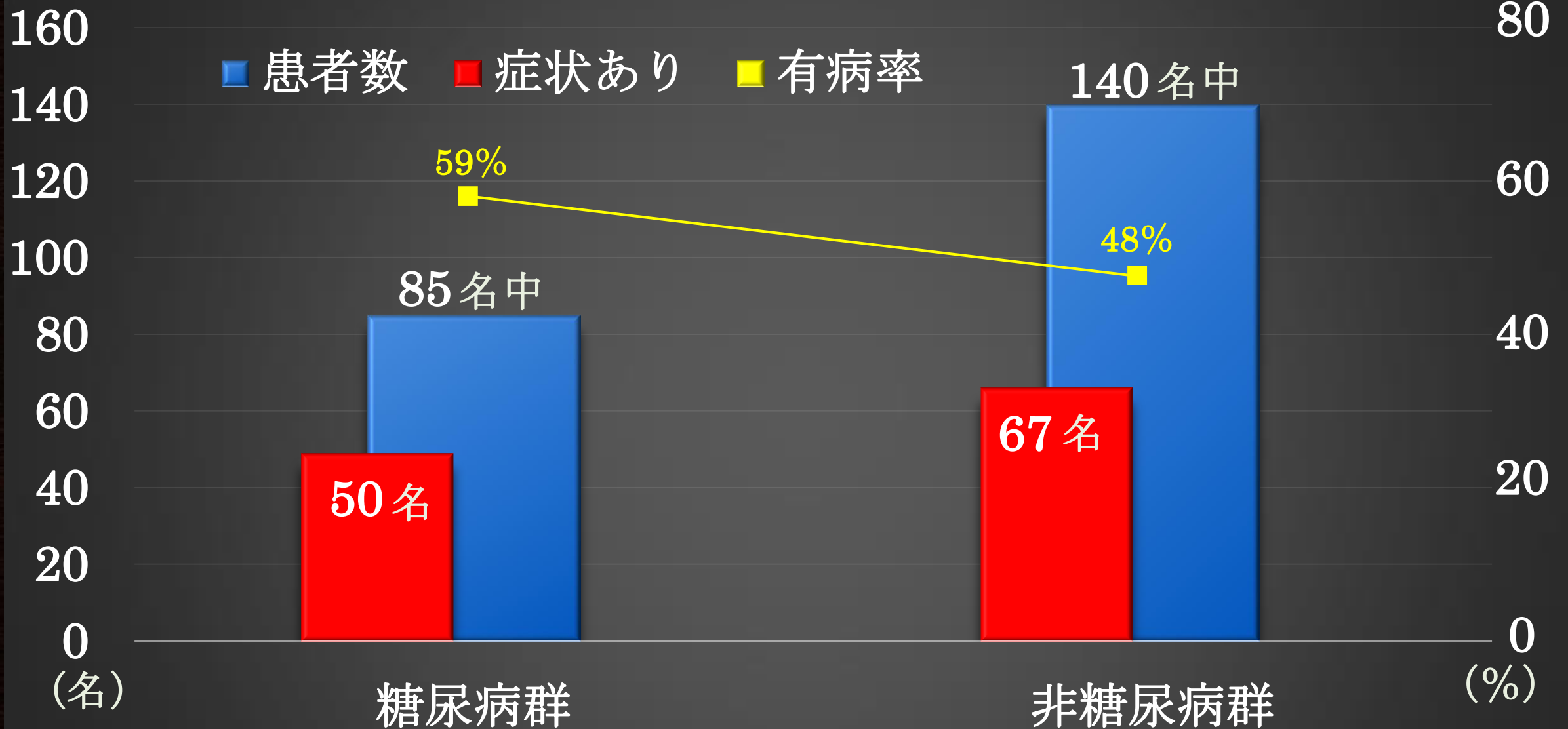
足の異変に気づいたら最寄りの
スタッフに声をかけて下さい。

アンケート結果

・新たに足病変を発見できた
患者84名



糖尿病の有無で比較



結果①

- ・新たに足病変を発見できた患者は84名で、定期的にフットケアを行っていた33名を含め合計117名と全体の52%に及んだ
- ・アンケート実施により、自分の足病変を疑った患者は足の視触診を希望(14名)し、観察により足の異常を早期に発見できた

結果②

- ・糖尿病群は末梢神経障害のため、非糖尿病群に比べ足病変有病率が59%と高かったが、非糖尿病群でも約50%の患者が足病変を保持していた

考察

- ・足の変化に気づいていたが、それを訴えなかった患者が視触診を希望してきたのは、指導により足の変化を再認識し足に興味、関心を持ったからと考える
- ・無症状でも重篤な足病変に繋がるため患者指導の継続と、原疾患にとらわれない根気強い関わりや観察が必要と感じた

茨城人工透析談話会

COI 開示

筆頭発表者名：小野寺 真美

演題発表に関連し、開示すべきCOI
関係にある企業などはありません